

第5回日EU英語俳句コンテスト結果発表 (優秀作品の紹介)

平成26年8月13日
外務省欧州局政策課

作品の仮訳及び講評: 角谷昌子国際俳句交流協会評議員、第5回日 EU 英語俳句コンテスト選考委員

1 最優秀賞

(1) 日本部門 砂村 真由さん(東京都)

Water lilies,	睡蓮や	
drifting softly on the lake,	湖面に咲きつぐ	
blooming buds of brotherhood	友好のつぼみ	(仮訳)

【選考委員講評】

睡蓮の花が盛りを迎え、湖面にそっとさまざまな色を浮かべています。浮葉の間からたくさんつぼみが見え、つぎつぎに花を咲かせてゆきます。そのイメージは、手と手をつなぎ合う兄弟同士の友好を思わせます。大切に育まれた蕾はどんどん育ち、国境を越え、人類愛の美しい花々として湖面を覆ってゆきます。日本人にとって親しいモネの睡蓮の絵も目に浮かびます。東洋と西洋を越えた友好の花々が未来にも咲き継ぐことでしょう。(角谷先生)

【応募者からのメッセージ】

スイレン(Water lilies)は、夏の季語でヨーロッパでは縁起の良い花だとされています。スイレンの花言葉は、清純な心とされているので、純粋な気持ちでEUと日本が良好な関係を築くことができるようにという思いを込めています。(砂村さん)

(2)EU 部門 Robert Lommen さん(ドイツ)

***A starry night sky,
merges into spring's first dawn.
Birds already chirping.***

星空が
春暁(しゅんぎょう)となる
鳥の声 (仮訳)

【選考委員講評】

星がまたたいていた濃紺の夜空も、やがて朝を迎えて、しだいに明るい薔薇色に染まってきました。色彩のコントラストが美しいですね。春の夜明けはことに「春は曙」と言われて、日本人にとっては清少納言の「枕草子」を思い出す大切な季語となっています。夜明け前から早起きの鳥たちが、もう囀りの声を聞かせてくれています。大自然の色彩豊かで雄大な景に鳥の声を効果的に配して、視聴覚を楽しませてくれる句です。さらに「星空」はEUの、「夜明け」は日の昇る国である日本の象徴となっており、鳥の声は両者の友好をイメージしているようです。大自然を写生するばかりでなく、それぞれの言葉の象徴性が見事に活かされています。(角谷先生)

【応募者からのメッセージ】

この俳句において、星空は EU を、夜明けは日出ずる国である日本を表しています。星空から夜明けの遷移が静かに行われるように、日本と EU の間には何の障壁もありません。春の最初の夜明け(spring's first dawn)は、春分の日暗示であり、昼と夜の長さが同じであることから日本と EU が平等であることをほのめかしています。鳥の鳴き声にたとえた日本と EU の対話が深まる中、太陽はゆっくりと日本から EU の方に動き、人々にゆっくりと目覚めをもたらしていきます。それは温かく新しいことの始まり、つまり、発展した日本と EU の関係との素晴らしい出会いなのです。(Lommen さん)(外務省仮訳・抜粋)

2 優秀賞

(1) 日本部門

① Cho Eiju さん (埼玉県)

Only oceans in-between us, 我らの間には大洋のみ
The more afar we come from, 遥かより来たれば
The tougher we two feel bonded. さらに絆は強まる (仮訳)

【選考委員コメント】

大洋という雄大なイメージを用いて、両者の距離に関わらず、強い友好の絆が築かれるとする力強い俳句です。(角谷先生)

【応募者からのメッセージ】

日本と EU は海で隔たれていますが、距離を感じたことはありません。いつも強い絆が私たちをつないでいるからです。昨年近所に住んでいた交換留学生のイタリア人の友人のことを思ってこの俳句を詠みました。(Cho さん)(外務省仮訳)

② 武田 清美さん (愛媛県)

The letter, 海外の遠き友へ
send my hopes to my friends far away, 送る手紙
over the sea like a European robin ヨーロッパ・コマドリのように (仮訳)

【選考委員コメント】

遥かな距離を隔てて住む海外の友人たちへ送る手紙を、「ヨーロッパ・コマドリ」に喩えた詩情のある句です。(角谷先生)

【応募者からのメッセージ】

いつか、ヨーロッパに行って友達をたくさん作り、日本に帰っても彼らと文通をしたいという思いから、これを作りました。(武田さん)

③Tahara Jeorge さん（神奈川県）

wonderful encounter

素晴らしき出会い

to launch Japan-EU space shuttle

日本とEUの宇宙船を

to the base of harvest moon

仲秋の名月の基地に向けて（仮訳）

【選考委員コメント】

「仲秋の名月」という伝統的な季語に対して、スペースシャトルを共同で発進させるという現代的なテーマが面白い対比になっています。（角谷先生）

④Tomioka Sayaka さん（大阪府）

Roses for two mothers

二人の母への薔薇の花

Congratulations flown over the seas

結婚カップルへの祝辞が海を越えて

A couple links unknown folks

見知らぬ人々をつなぐ（仮訳）

【選考委員コメント】

新婚の二人を育ててくれたそれぞれの母への薔薇の花、さらには祝辞が人とのつながりを広げてくれる。心温まるメッセージが籠められています。（角谷先生）

【応募者からのメッセージ】

私たちの結婚式で、新郎新婦それぞれの母に感謝の花束を贈呈しました。縁遠くになっていた友人や親戚とも、式の後、手紙や写真、贈り物などの交換を通じて、連絡を取るようになりました。結婚を通し、私たちの周りの人がつながり、まるで大きな家族のようです。素敵な出会いとなりました。（Tomioka さん）（外務省仮訳）

⑤服部 励生さん（福島県）

peace by piece

一人ひとりによる平和

everyone meets

誰もが出会う

as if completing a puzzle

パズルがぴったり合うように（仮訳）

【選考委員コメント】

“piece by piece”をうまくアレンジして、“peace by piece”とし、平和のためのパズルが完成されるようにとの思いがよく伝わってきます。（角谷先生）

【応募者からのメッセージ】

「個が出会い 平和ができる パズルのように」

ピースとピースが組合わさっているパズルのように、人や国も何かと組み合わせればすばらしい出来事が起こるかもしれないという可能性を描きました。（服部さん）

(2)EU 部門

①Florentina Loredana Dalian さん（ルーマニア）

Sakura Festival -

桜祭

I stay on the Danube shore

ダニューブ河畔から

but my heart travels so far away

心遠くに旅すなり（仮訳）

【選考委員コメント】

たとえ遠く隔たっていても、心を通わせれば、友好は保てます。ダニューブ河畔の桜から日本の桜へ思いを馳せるところに実感があります。（角谷先生）

②Siobhan McKinney さん（英国）

Shodou brushstrokes sweep

書の筆勢

inked words stirred as summer birds

墨痕地平へ翔つ

wing far horizons

夏鳥のごと（仮訳）

【選考委員コメント】

書道の墨の文字が、まるでつばめのように、地平線へ向かって飛んでゆくイメージは大胆で美しいです。（角谷先生）

③Nora Emri さん（ハンガリー）

*Twenty eight children
on a bridge of syllables
welcoming the sun.*

28人の子供たち
音節の橋の上
太陽を大歓迎

（仮訳）

【選考委員コメント】

俳句を「音節の橋」とし、その橋にEUの国々が子供たちのように手をつなぎ、太陽（日本の象徴）を迎える。発想の面白い句です。（角谷先生）

【応募者からのメッセージ】

28の EU 加盟の市民が、俳句を通して日本文化に素敵な出会いをする場面を詠みました。音節の橋は俳句そのものであり、EU と日本をつないでいます。日本に比べると、EU にとって俳句は未だに新しいものであり、つまり、子供たちのように見えます。子供たちは日本のシンボルである太陽を、俳句の源として眺めています。（Emri さん）（外務省仮訳）

④Mila Temnyalova さん（ブルガリア）

*sailing through calm waters
to meet twelve stars —
a paper boat*

12の星に会うため
静かな水を航く
一艘の紙舟

（仮訳）

【選考委員コメント】

12の星（EUの象徴）に会うため、静かな水を航海する紙の舟（日本の象徴）。詩的なシーンにうまく仕上がりました。（角谷先生）

【応募者からのメッセージ】

静かな水は日本とEUとの友好的で刻々と深まる関係を表し、12の星はEU旗を、紙の船は日本で親しまれている折り紙を、それぞれ象徴しています。興味深いことに、欧州で見つかった最古の折り紙は、15世紀のものとされる紙の船だということです。（Temnyalova さん）（外務省仮訳）

⑤Andrew Cookson さん (英国)

Fallen amber leaves,

琥珀いろの落葉

that tender crunch beneath us -

踏む音が優しく

our forest echoes.

森中に響き合う

(仮訳)

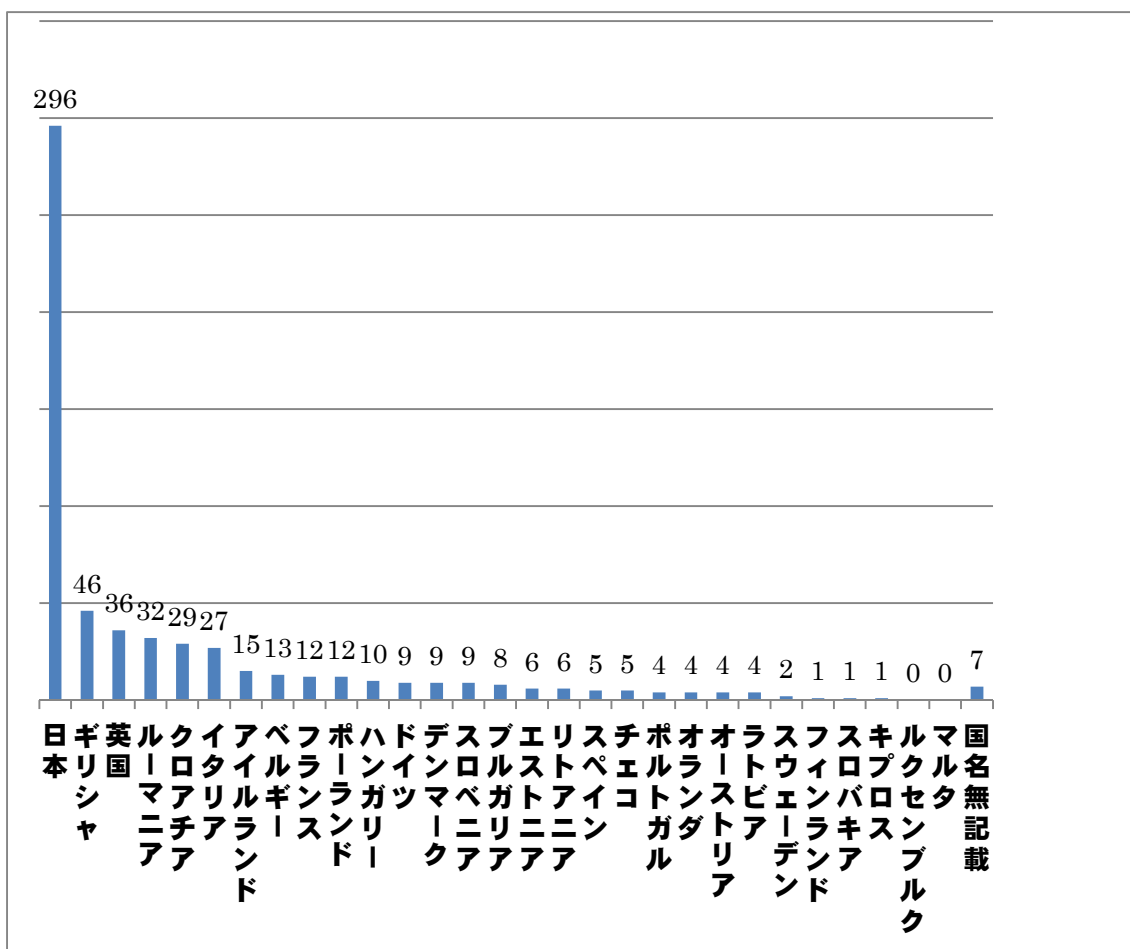
【選考委員コメント】

落葉の色と踏む音が森に響くという、色彩と音の効果がよく出ています。自然のハーモニーが美しく描かれました。(角谷先生)

【応募者からのメッセージ】

これまでの人生を共有しながら寄り添う、恋人たちの終生の出会いを描きました。(Cookson さん)(外務省仮訳)

3 当コンテストへの国別応募者数



(了)